

2024年12月 5日

日本アビオニクス株式会社

各位

<https://www.avio.co.jp/>

患部の温度分布を瞬時に可視化 国内唯一^{※1} ポータブル型医用サーモグラフィ F50ME を発表

日本アビオニクス株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：竹内 正人）は、「医用サーモグラフィ F50ME」を発表いたします。

（厚生労働省 医療機器承認番号 30600BZX00223000）



■ 開発の背景

少子高齢化が急速に進む現代日本において、医療従事者（医師、看護師など）の不足や、それによる労働環境の悪化が社会問題となっており、医療のDX化による業務の効率化が求められております。

このような医療現場からの要求に対し、弊社では、長年にわたる赤外線サーモグラフィ事業で得た経験と実績から、今般、「医用サーモグラフィ F50ME」を開発するに至りました。

■ 医用サーモグラフィとは

様々な状態や病状を診断及び評価・検査する目的で、人体から放射される赤外線の検出技術を用いて体表温度分布をリアルタイム画像として可視化する医療機器です。

体表の温度分布を把握することにより、炎症や血行障害の範囲や治療効果の確認などに活用することができます。

■ 本製品の特長

- ① フリーアングル
小型軽量カメラヘッド（約 110g）により、自由なアングルで撮影可能
- ② フォーカスフリー
ピント合わせをすることなく、クリアな熱画像を表示します
測定距離：40 cm～270 cm
- ③ ポータブル
バッテリー駆動により、AC 電源が無い場所でも使用が可能
病棟のベッドサイドなど、診察室や検査室以外でも持ち運んでご利用いただけます
- ④ 視認性に優れた熱画像表示
表示画素数 57,600 画素、温度分解能 0.06℃以下
見やすい熱画像を表示します
- ⑤ 大きな表示画面
10 インチタッチパネルに熱画像などの測定結果を表示
- ⑥ 報告書出力（PDF）
測定データに対して、定型報告書（PDF）生成し、micro SDHC^{※2}カードに記録できます
煩わしい報告書作成の手間を軽減します
- ⑦ 3つの測定補助機能
通常計測モード：熱画像表示、保存画像表示
負荷試験モード：トレンド温度と回復率の表示
患者 ID 管理：患者 ID、患者名、生年月日、性別の登録と、患者 ID で熱画像を検索
- ⑧ 自己診断機能
電源を入れると自己診断をおこないます
定期校正時期が近づくと、校正を推奨するお知らせを表示します

■ 利用シーン

① 病室

ハンドストラップ（別売関連周辺機器）



② 診察室

卓上スタンド（別売関連周辺機器）



③ 検査室

フロアスタンド（別売関連周辺機器）



■ 製品仕様

項目	仕様
医療機器承認番号	30600BZX00223000
検出器	2次元非冷却マイクロボロメータ
測定温度範囲	0~50℃
温度分解能	0.06℃以下
フレームレート	7.5Hz
表示画素数	240(H) x 240(V)画素
測定視野角	37.5°x 37.5° ±3.5°
測定距離範囲	40cm ~ 270cm
フォーカス	固定
空間分解能	2.8mrad
電源	AC100V(ACアダプタ経由) リチウムイオンバッテリー (バッテリー駆動時間: 4時間)
外形寸法(mm) 接続ケーブル、突起部除く	カメラヘッド: 32 x 42 x 133 コントローラ: 197 x 272 x 19.5
質量	カメラヘッド: 約 110g コントローラ: 約 1,200g
標準添付品	ACアダプタ、電源コード、スタイラスペン、カメラホルダ ネックストラップ、ミニ三脚、microSDHC ^{※2} カード 取扱説明書(CD)、検査証・保証書

■ 発売時期

2025年1月末発売予定

※1 2024年11月末日時点 当社調べ (バッテリー駆動国内医用サーモグラフィ)

※2 microSDHCはSDアソシエーションの商標または登録商標です

<仕様など詳細はこちら>

医用サーモグラフィ F50ME 製品ページ

<https://www.avio.co.jp/products/methermo/f50me>

【本件に関するお問い合わせ】

日本アビオニクス株式会社 センシングソリューション事業部 営業部

TEL : 045-287-0303

Email : businessdevelopment@ml2.avio.co.jp